

地域づくり型生涯学習講座コーディネート事業

飛騨市にて防災をテーマにした 「家庭教育支援」の講話を実施



災害時の心理学 -こころのケアについて考える-

講 師 岐阜大学教育学部准教授 板倉 憲政 氏

日 時 令和7年9月10日（水） 19:00～21:00

場 所 古川町コミュニティセンター

対 象 保護者、防災士等地域住民 35名

内 容

- ・災害時のストレスと日常のストレス
- ・災害直後に子どもが示す特有の反応と対応
- ・仮設住宅における問題と支援内容
- ・支援者の代理受傷の症状と予防法

参加者の感想

- ・災害時のこころのケアとして、いつもの安心・安全な環境が回復につながることを学びました。自分にできることは何か考えさせられる時間となりました。
- ・災害時、支援者が被災者を弱い立場とみなすことは、被災者の拒否反応に繋がってしまうリスクになることを学びました。寄り添う気持ちとある程度の距離感が必要であることや支援者の代理受傷についても考えいかなければと改めて勉強になりました。

主催者の感想（コーディネート事業を利用して）

- ・今回は、災害時にも安心できるつながりのつくり方や地域の中でできる対策について学んだ。今後も困りごとを抱える方やその家族に対する理解や受容をできるまちになるよう、継続的に学ぶ場を設けることで、保護者や地域に働きかけていく。